



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 加藤製作所
コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 高橋 啓二

TEL 03-3458-1130

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,609	△5.6	655	△67.1	712	△64.9	502	△58.9
24年3月期第3四半期	38,763	17.6	1,993	667.2	2,028	785.7	1,223	142.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 931百万円 (△11.3%) 24年3月期第3四半期 1,049百万円 (392.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.58	—
24年3月期第3四半期	20.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	84,069	33,351	39.7
24年3月期	86,176	32,947	38.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 33,351百万円 24年3月期 32,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	0.7	1,200	△62.3	1,100	△67.0	500	△81.1	8.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	58,717,936 株	24年3月期	58,717,936 株
25年3月期3Q	109,322 株	24年3月期	108,585 株
25年3月期3Q	58,608,982 株	24年3月期3Q	58,611,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国をはじめとする新興国経済の停滞とともに、米国景気の先行き不安や、欧州経済に対する不信感などから、引き続き円高・株安、消費低迷状態が続き、総じて不安定な状況にて推移いたしました。ただ、終盤には新たな政権による積極的な金融・財政政策等への取り組み発言から、一転して円安、株高傾向となり、先行きにも明るさが感じられる展開となってまいりました。

当社グループの事業環境は、中国の油圧ショベル需要に好転の兆しはなく、厳しい状況が続いております。ただ、国内の建設用クレーンならびに油圧ショベル需要は、主に中・小型機械が中心ではありますが、震災からの復興需要もあり、堅調に推移してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高 366 億 9 百万円（前年同期比 94.4%）、営業利益 6 億 5 千 5 百万円（前年同期比 32.9%）、経常利益 7 億 1 千 2 百万円（前年同期比 35.1%）となり、四半期純利益は 5 億 2 百万円（前年同期比 41.1%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

建設用クレーン・油圧ショベル等の建設機械は、復興需要にも支えられ、堅調に推移いたしました。ただ、需要が中・小型機械に集中しましたことから、売上高は 335 億円（前年同期比 91.9%）となり、セグメント利益（営業利益）は 3 億 4 千 7 百万円（前年同期比 35.5%）となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、未だ停滞しており、上昇の兆しはみられません。売上高は 54 億円（前年同期比 61.6%）となり、セグメント利益（営業利益）は 3 億 8 千 6 百万円（前年同期比 34.8%）となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

東日本大震災からの復興需要もあり、国内需要は中・小型クレーンを中心に、堅調に推移してまいりましたが、海外では厳しい為替環境が続き、未だ力強い展開にまでは至っておりません。売上高は 219 億 7 千 3 百万円（前年同期比 111.5%）となりました。

② 油圧ショベル等

国内においては、東日本大震災の復興需要もあり、大きく落ち込むことなく推移いたしましたものの、中国においては、厳しい販売環境に好転の兆しはみられません。売上高は 139 億 9 千 6 百万円（前年同期比 76.9%）となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高 6 億 4 千万円（前年同期比 74.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ21億6百万円(2.4%)減少し、840億6千9百万円となりました。これは、主として現金及び預金の減少29億3百万円ならびに、受取手形・売掛金の減少44億4千8百万円の減少要因と、たな卸資産の増加54億6千6百万円の増加要因等によるものであります。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ25億9百万円(4.7%)減少し、507億1千8百万円となりました。これは、支払手形・買掛金が6億8千3百万円、短期・長期借入金が12億6千7百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億3百万円(1.2%)増加し、333億5千1百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による5億2百万円ならびに、その他の包括利益の増加4億2千8百万円の増加要因と、配当金の支払い5億2千7百万円の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月5日に公表した予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益にあたる影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,858	10,954
受取手形及び売掛金	37,150	32,701
たな卸資産	22,466	27,933
繰延税金資産	1,111	946
その他	966	1,041
貸倒引当金	△790	△1,131
流動資産合計	74,762	72,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,522	3,939
機械装置及び運搬具（純額）	1,172	1,207
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	499	71
その他（純額）	174	172
有形固定資産合計	8,112	8,135
無形固定資産	110	206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,448	1,489
破産更生債権等	1,069	1,034
繰延税金資産	538	556
その他	1,204	1,236
貸倒引当金	△1,069	△1,034
投資その他の資産合計	3,191	3,282
固定資産合計	11,413	11,624
資産合計	86,176	84,069

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,588	19,904
短期借入金	9,605	10,115
1年内返済予定の長期借入金	4,215	4,548
未払法人税等	147	91
割賦販売前受利息	1,340	1,200
賞与引当金	446	190
製品保証引当金	298	198
その他	722	708
流動負債合計	37,363	36,956
固定負債		
長期借入金	14,535	12,424
退職給付引当金	730	717
役員退職慰労引当金	595	614
その他	4	4
固定負債合計	15,865	13,761
負債合計	53,228	50,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	22,848	22,823
自己株式	△25	△26
株主資本合計	32,868	32,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	60
為替換算調整勘定	37	448
その他の包括利益累計額合計	79	508
純資産合計	32,947	33,351
負債純資産合計	86,176	84,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	38,763	36,609
売上原価	33,009	31,937
売上総利益	5,753	4,672
販売費及び一般管理費	3,760	4,016
営業利益	1,993	655
営業外収益		
受取利息	5	23
割賦販売受取利息	415	399
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	13	14
製品保証引当金戻入額	—	99
その他	43	32
営業外収益合計	487	577
営業外費用		
支払利息	308	334
為替差損	119	158
その他	24	28
営業外費用合計	453	520
経常利益	2,028	712
特別利益		
固定資産売却益	5	12
特別利益合計	5	12
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	25	1
特別損失合計	25	1
税金等調整前四半期純利益	2,007	723
法人税、住民税及び事業税	134	79
法人税等調整額	648	141
法人税等合計	783	221
少数株主損益調整前四半期純利益	1,223	502
四半期純利益	1,223	502

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,223	502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	18
為替換算調整勘定	△154	410
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△174	428
四半期包括利益	1,049	931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049	931
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	29,993	8,769	38,763	—	38,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,442	—	6,442	△6,442	—
計	36,436	8,769	45,206	△6,442	38,763
セグメント利益	977	1,112	2,089	△96	1,993

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去△96百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	31,208	5,400	36,609	—	36,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,291	—	2,291	△2,291	—
計	33,500	5,400	38,901	△2,291	36,609
セグメント利益	347	386	733	△78	655

(注) 1 セグメント利益の調整額にはセグメント間未実現利益消去△78百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。